

会員各位

2023（令和5）年6月1日

埼玉県化粧品工業

会長 石田 一弘

2023（令和5）年度 埼玉県化粧品工業会「学術講演会」開催のご案内

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は埼玉県化粧品工業会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2023（令和5）年度「学術講演会」を下記の通り開催いたします。

- 開催日 : 2023（令和5）年7月26日（水）
開催場所 : 埼玉県県民総合活動センター セミナーホール1（2階）
〒362-0812 埼玉県足立郡伊奈町内宿台六丁目26番地
Tel048-728-7117
開催時間 : 14:00～16:10（13:30～受付開始）
講演テーマ : 「化学物質のリスクと管理－リスクに関する誤解について－」
講師 : 坂口 正之氏
元独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）化学物質管理センター所長
参加費 : 無料

とても参考となる内容となっております。

是非、ご参加の程よろしくお願い申し上げます。

お手数ですが、参加申込は別添の申込用紙を添付しメール、又はFAXにて**6月30日(金)**までにお送りくださいますようお願い申し上げます。なお、参加証の発行(返信)はいたしません。当日受付にて会社名、氏名をお伝えください。

会場の定員の関係上、先着100名様と、させていただきます。

敬具

《お問い合わせ先》

埼玉県化粧品工業会

会長会社事務局 株式会社コーセー 狭山事業所内

〒350-1396 埼玉県狭山市富士見2-20-1

TEL : 04-2957-2131 FAX : 04-2956-7122

E-mail : y-sudo@kose.co.jp

須藤 ゆかり

埼玉県化粧品工業会学術講演会内容補足資料

1. 講演内容

化学物質は様々な場面で利活用されており、例えば、繊維、プラスチック、ゴム、石けん、洗剤、化粧品、塗料、インキ、染・顔料、火薬、ガラス、セメント、セラミックス、肥料、農薬、医薬品など、私たちの日々の生活の上で、直接的又は間接的に必要不可欠なものとなっています。

一方、天然物を含め全ての化学物質にはハザード（毒性）とリスクがあり、私たちはその化学物質のリスクを知って安全、安心に化学物質の恩恵を享受することが重要となっています。

この度、天然物を含めた化学物質のハザードとそのリスク評価手法などについて、講演会を開催することとなりました。

本講演会におきましては、化学物質のハザードとはどのようなものか、また、そのハザードと曝露量（摂取量）からどのようにリスク評価が行われ各種の規制や管理が行われているかなどについて、一般の方々にも分かりやすく講演を行います。

2. 講演テーマ

『化学物質のリスクと管理－リスクに関する誤解について－』

「主題」

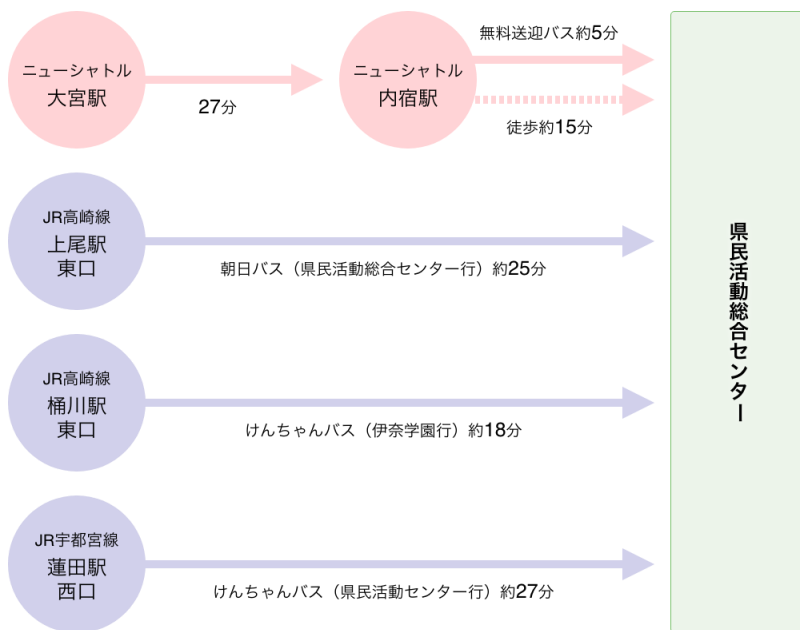
- ・毒性発現と用量反応曲線とは
- ・閾値とは
- ・反復投与毒性試験と無毒性量（NOAEL）とは
- ・変異原性試験とは
- ・疫学的手法によるハザード評価とは
- ・発がん物質とヒトへの発がん性分類とは
- ・リスク＝ハザード×曝露とは
- ・リスク評価における UF（不確実係数）とは
- ・ADI（一日許容量）や MOS（暴露マージン）とは
- ・発がん物質のリスク評価とは ほか

「副題」

- ・人工物より天然物の方が安全というのは誤りである？
- ・フグには毒の無い部分はない？
- ・木材も酒もソーセージも発がん性物質である？
- ・「発がん物質」の中に「発がん性のおそれのある物質」が混入したために回収措置となった事例がある？
- ・発がん性の無いことが証明された物質は無い？
- ・インスタントみそ汁は薄めて飲めば高血圧にならない？
- ・発がん物質の規制は 10^{-5} （10万人に一人）の発がんリスクで行われる？
- ・ハザード（毒性）が明らかになった物質こそ使うべき？ ほか

会場のご案内

詳しくはホームページをご覧ください。 <https://www.iki-iki-saitama.jp/>



駐車場

収容台数 約 500 台 400 円/1 日最大